

愛媛県NPO法人育成支援事業申込書

ふりがな 団体名	(中間支援組織の名称) みなとおあしす みちのえき やわたはまみなっと みなとこうりゅうかん みなとオアシス 道の駅 八幡浜みなっと みなと交流館 (運営受託や指定管理の場合は運営団体の名称を追記してください) とくていひえいりかつどうほうじん やわたはまげんきぶろじえくと 特定非営利活動法人 八幡浜元気プロジェクト		
ふりがな 代表者 職氏名	(中間支援組織における代表者の職氏名) かんちょう きむらけんじ 館長 木村 謙児 (運営団体の代表者が上記と異なる場合は追記してください) だいひょうりじ はまだのりふみ 代表理事 濱田 規史		
設立年月日	(中間支援組織の設置)	平成25年4月12日	
	(運営団体の設立)	平成26年6月19日	
事務所 所在地	(中間支援組織の住所) (〒796-0087) 住所：愛媛県八幡浜市沖新田1581番地23 TEL：0894-21-3710 FAX：0894-21-3711 メールアドレス：info@minatto.net (運営団体の住所が上記と異なる場合は追記してください) (〒796-0001) 住所：愛媛県八幡浜市向灘3058 TEL：090-7577-2581 FAX： - - HPアドレス：info@re-ygp.com		
担当者の 連絡先	*通常、連絡がとれる携帯番号やメールアドレスを記載してください。		
職員の状況 ※中間支援組織業 務に従事する人 数のみ記載して ください	常勤職員	4人	
	その他職員	2人	
会報誌の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	ホームページの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
ホームページ有の場合、 そのアドレス	http://www.minatto.net/		

※ 貴団体が作成している広報誌・会報誌等があれば添付してください。

**平成28年度愛媛県NPO法人育成支援事業
【地域協働推進活動助成】企画提案書**

平成28年6月6日

次のとおり、標記事業について、企画提案書を提出します。

申請者	団体名	八幡浜みなとと みなと交流館 (特定非営利活動法人 八幡浜元気プロジェクト)
総事業費及び 希望する県補助金額	総 事 業 費	305,469 円 (うち希望補助金額 300,000 円)
事業概要	申請事業の概要を100～200字程度にまとめて記載してください。 NPO等が抱える「マーケティング」、「コミュニティマネジメント」、「情報発信」の3分野の課題について、外部から講師を招聘し、専門的かつ具体的な事例を学ぶことで、既存NPO等のスキル向上を図ることをもって、活動の活性化に貢献します。 なお、南予唯一の中間支援組織であることから、南予一円に対しても積極的に参加呼びかけを行い、その効果を相乗的に広げていきます。	
事業実施期間	平成28年8月1日から平成29年3月15日まで	

1 目的・目標	(1) 事業の背景となるNPO法人等の課題やニーズ等について記載してください。 小さくても熱い思いで地域に貢献しようという団体は多いです。しかし、そのような団体はPR不足で、苦勞しています。講座を通して、こうした団体を後押ししていきたいと考えています。
	(2) 課題を解決するための提案事業との関連について記載してください。 上記課題を解決するために、中間支援組織としての相談機能発揮はもちろん、同組織内では対応できないニーズに対し、外部から専門家を招聘し、専門的かつ具体的に取り組みやすい講座等を行います。
	(3) 事業の目標 (NPO法人等の事業力及び運営能力の向上について期待される成果) を記載してください。 ① NPO等のマーケティングスキルが向上すること。 ② NPO等のIT等を活用した情報発信スキルが向上すること。 ③ NPO等のコミュニティマネジメントスキルが向上すること。 ④ 他団体との協働が促進され、かつ新たなファンが増えること。
	(4) 目標達成のために工夫する点を記載してください。 開催する講座に中間支援組織の実務を行う「みなと交流館」職員も参加し、自身のスキルアップにもつなげてもらいます。講座終了後も、受講団体を中心に相談等を通じたフォローアップを行っていきます。
2 実施体制	貴団体及び協働して事業に取り組む各主体等を含めた事業の実施体制について記載してください。 中間支援業務に関しては、以前より中間支援事業を手掛けてきた当法人(八幡浜元気プロジェクト)が主導しておりますが、今回の講座の効果を最大限に広げるために、みなと交流館の他部門職員の参画も促しながら、全館をあげてNPO等の課題解決に取り組めるよう体制を作ります。
3 スケジュール	事業の進め方、段取り等が分かるように、いつ、どのような活動を行うのか、スケジュールを具体的に記載してください。(※別紙添付でもかまいません。)

	<p>(1) ニーズに応じてミッション実現へ！思いをカタチにするための事業戦略 (28年10月)</p> <p>(2) コミュニティマネジメントセミナー (28年11月)</p> <p>(3) NPO向け広報・デザイン講座 (29年1月)</p> <p>(4) 伝わる文章の書き方講座 (29年3月)</p> <p>※講師のスケジュールによっては変更の可能性があります。</p>
--	---

※適宜、枠を広げてください。

事業収支計画書

1 収入の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
助成金 (本件)	300,000	愛媛県地域協働推進活動助成金
自己財源	5,469	
収 入 計	305,469	

2 支出の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
報償費 (講師謝礼)	140,000	① 講師：長浜洋二 50,000円 (土日祝日の半日：3時間未満) ② 講 師：呉 哲煥 30,000円 (土日祝日の半日：3時間未満) ③ 講 師：谷 浩明 30,000円 (土日祝日の半日：3時間未満) ④ 講 師：山口 拓朗 30,000円 (土日祝日の半日：3時間未満)
旅費 (講師の交通費等)	154,752	① 32,994円 (交通費) + 5,694円 (宿泊費) =38,688円 ② 32,994円 (交通費) + 5,694円 (宿泊費) =38,688円 ③ 32,994円 (交通費) + 5,694円 (宿泊費) =38,688円 ④ 32,994円 (交通費) + 5,694円 (宿泊費) =38,688円
需用費 (消耗品費)	10,717	3回分の講座に係る消耗品費 ふせん 4,623円 マジック 907円×3セット=2,721円 模造紙 3,373円
支 出 計	305,469	

※ 申請しようとする事業に係る収支計画 (見込) を記載してください。

* 団体全体の事業計画ではないのでご注意ください。

【 別 添 】

1. 講座の概要

(1) ニーズに応じてミッション実現へ！思いをカタチにするための事業戦略

① 講師 長浜洋二

② 内容 マーケティングが分からない、関係ないと思っている方に、講師よりマーケティングの視点から、自分たちの事業の組み立てや見直しをワークショップ形式で学びます。

(2) コミュニティマネジメントセミナー

① 講師 吳哲煥(ご てつあき)

② 内容 コミュニティ運営で最も重要な3つの項目(1. ミーティング、2. 年間計画、3. イベント集客)の具体的なやり方とコツを、「型」としてコミュニティ運営に導入する方法を、講義とワークを通して伝えます。

代表・リーダーだけで孤軍奮闘するコミュニティから脱却をし、チームで運営しながらいきいきと継続するコミュニティにしていくポイントを学びます。

(3) NPO 向け広報・デザイン講座

① 講師 谷 浩明

② 内容 NPO・任意団体の方々などは金銭面の問題からチラシを自分たちの手で制作しているところがほとんどです。

この講座では、講師が一方向的に専門知識を話すスタイルの講座ではなく、デザインの基礎知識などの座学はもちろんのこと、座学を元に講師がチラシ課題を提示。参加者がチラシを作成・プレゼンテーション、そして講師の添削までチラシ制作の流れをノンストップに実践・体験できるプログラムです。

(4) 伝わる文章の書き方

① 講師 山口 拓朗

② 内容 メール、チャットアプリ、SNSのコメント、今や、文章によるコミュニケーションは避けられなくなりました。一方で、情報や思いが正確に伝わらず、相手の怒りを買ったり、誤解やトラブルを招いたりするケースが増えています。

本講座では、文章コミュニケーションの問題点と、その改善点をわかりやすく指南。誰とでも良好な人間関係を築き、事業成果の最大化を図るコツを身につけていただきます。

※ 講座の名称は、仮称であり、開催告知までに変更することがあります。

※ 開催日時については現在調整中です。

なお、講師の都合が合わない場合は、招聘する講師を変更することがあります。

2. 講師のプロフィール

① 長浜 洋二 (ながはま ようじ)



一般財団かわさき市民しきん評議員 / 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会戦略アドバイザー / NPO 法人 CR ファクトリー コミュニティ・マネジメント・ラボフェロー

1969 年山口県生まれ。米国ピッツバーグ大学公共政策大学院（公共経営学修士号）卒。NTT、マツダ、富士通でマーケティング業務に携わる一方、米国の非営利シンクタンクにて個人情報保護に関する法制度の調査・研究、ファンドレイジング、ロビイングなどの経験を持つ。

② 吳 哲煥 (ご てつあき)



1974 年生まれ。

国立静岡大学人文学部社会学科卒。

2005 年 NPO 法人 CR ファクトリー設立、代表理事就任。

「すべての人が居場所と仲間を持って心豊かに生きる社会の実現」をビジョンに、NPO・市民活動・サークル運営者向けのサービスを多数提供。

関わるメンバー一人ひとりが「コミットメント（やる気・関わり）」と「愛着」を高めていくコミュニティづくりに定評がある。

講演・セミナー実績多数。ETIC 社会起業塾コーディネーター、NPO サポートセンター 専門家派遣なども務める。

③ 谷 浩明(たに ひろあき) 合同会社 MACARON (ゴウドウガイシャ マカロン)



私は 2000 年初期から広告デザインの道に入り、以来、多くの企業の広告やプロモーションに関わるアートディレクション・デザイン業務を全うしてきました。当時は「どうすれば商品が売れるか、企業に喜ばれるか、お客さまに喜んでいただけるか」、ただそれだけを追求する日々でした。そんな中、2011 年 3 月 11 日、東日本大震災が起きました。私は現地の状況を知る度に「社会に対して、デザインは何ができるだろう?」と考えるようになり、また「デザインの意義」や「生きること」を 0 から考え直すようになりました。考えた末、気付いたことは『人とのつながり・人のあたたかみの大切さ』でした。だからこそ、それまで以上に「人とのコミュニケーションを大切にしながら、デザインを通して社会の課題と向き合うことで、皆が笑顔で生きていくお手伝いをしたい」と考え、MACARON を設立しました。

④ 山口 拓朗 (やまぐち たくろう) 伝える力【話す・書く】研究所主宰



講師略歴 出版社で編集者・記者を務めたのちにフリーライターとして独立。

18 年間で 2200 件以上の取材・インタビュー歴がある。現在は、執筆活動と平行して、講演や研修で「伝わる文章の書き方」や「買わせる文章の書き方」等のライティングスキルを提供。

“仕事が舞い込むブログ発信力”を鍛える「山口拓朗ライティング塾」も主宰する。「伝わらない悲劇から抜けだそう!」をモットーに活動中。

著書に『買わせる文章が「誰でも」「思い通り」に書ける 101 の法則』『伝わる文章が「速く」「思い通り」に書ける 87 の法則』(共に明日香出版社)他がある。「あなたの想いが伝わる女性のためのライティング講座」他、女性に特化したライティングセミナーも好評を博す。